

# 巨大幽霊マンモス事件



[巨大幽霊マンモス事件\\_下载链接1](#)

著者:二階堂 黎人

出版者:講談社

出版时间:2017-9-7

装帧:新書

isbn:9784062991032

帝政ロシアの崩壊で銃殺されたはずのニコライ 2 世の娘が、  
白系ロシア軍人たちとともに生きている!?  
真偽を確かめるべく、シベリアにある〈死の谷〉へ向かった作業員たち。  
だがその場所で事件が発生、唯一生還した男は、  
「この世のものじゃない……人間を、食って生きている……  
ゆ、幽霊なんだ……巨大な、幽霊マンモスが……」と口にした。  
新たにその地へ派遣されたシュペア少尉。  
彼もまた殺人事件に遭遇し……。  
常識を超えた超自然的な出来事と連続する殺人。  
1920年頃の不可解な事件を記した男の手記から、  
名探偵・二階堂蘭子が鮮やかに事件の真相に迫る！

作者介绍:

二階堂 黎人

1959年7月19日、東京都に生まれる。中央大学理工学部卒業。在学中は「手塚治虫ファンクラブ」会長を務める。

1990年に第1回鮎川哲也賞で『吸血の家』（講談社文庫所収）が佳作入選。1992年に『地獄の奇術師』でデビューし、推理小説界の注目を大いに集める。全4部からなる長大な本格推理小説『人狼城の恐怖』は1999年版の本格ミステリベスト10の第1位を獲得した。

近著に『アイアン・レディ』（原書房）、『亡霊館の殺人』、『僕らが愛した手塚治虫《復活編》』（南雲堂）がある。また「10歳までに読みたい名作ミステリー怪盗アルセーヌ・ルパン」シリーズの編著も務める。

目录:

[巨大幽霊マンモス事件\\_ダウンロード1](#)

标签

二阶堂黎人

推理

日系推理

日本

ミステリ・SF・ファンタジー・ホラー

☆

## 评论

<http://lockedroom.net/blog/?p=3677>

1920年西伯利亚发生的两起雪地无足迹杀人，解法居然不仅靠诡计的奇思妙想，而是更多地依赖布局做掩护，这本来并非作者擅长，所以本作完成度之高格外令人刮目相看。布局采用标准的“作中作”手法，但因为套了两层叙述性诡计，所以很难猜出全部真相。二阶堂兰子以安乐椅侦探身份出现，与案件人物几无互动，反倒减少诟病。结尾关于幽灵猛犸的解释为欢乐八嘎。媲美『吸血の家』的杰作，推荐。

-----  
说句实话是还行啦。虽然故事很荒诞，体裁很玛丽苏，叙事结构也有点微妙，但那个蠢到别具一格的雪地无脚印诡计反倒是加分了。问题是既然是作中作，明明就是叙了诡，还强行辩解扮出一副其实是fairplay的嘴脸，让人有点反感了。

-----  
这两个雪地无足迹要是单独来看真相都蠢得不行，但是连起来解答就有一种莫名的バカ感w。对比前面大段稍微有点莫名其妙的故事和“我XX但是我没在作中作XX就不算我XX了”这样的不要脸的（！）设定，解答短小明快一击即中（？）其实体验还是不错的（笑

-----  
雪地无足迹杀人诡计的挑战，作者自我挑战之作。我对于猛犸象吐槽无能，莫名其妙的日本鬼畜推理风潮。

-----  
[巨大幽霊マンモス事件\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[巨大幽霊マンモス事件\\_ダウンロード1](#)